



岡山県マスコット/うらっち・ももっち

# 教育通信

## こころのわ

●学校・家庭・地域社会の「心」を結ぶ●



VOL. 23



「おかやま教育の日」シンボルマーク  
11月1日

家庭向け教育情報紙 Vol.23 平成25年10月 編集・発行/岡山県教育庁教育政策課 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号 ☎(086)226-7569  
この「こころのわ」は、子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆さんに提供します。

### 目次

- 1～3面 《特集》家庭で子どもとの対話を～岡山県の教育を前進させるために～
- 4面 《岡山教育トピックス》
  - 人と科学の未来館サイピア ○岡山さんフェア2013
  - 第3次岡山県子ども読書活動推進計画
- 5面 ○岡山県の児童生徒の体力と運動習慣 ○特別支援教育の充実

- 6面 《子どもの声・保護者の声》
  - ・平成24年度「わが家のすこやか日記」
  - ・平成24年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」
- 7面 《困ったときは》 ・相談窓口一覧 ・教育相談Q&A
- 8面 《お知らせ》

### 教育長からのメッセージ



岡山県教育委員会教育長  
竹井 千庫

現在、本県の教育は学力の向上や不登校、問題行動の解消など喫緊の課題を抱えています。これらの課題に対しては、学校の指導に併せ、家庭での取組が大切となります。それぞれの家庭で実践していただきたいことは、まず、生活リズムの確立です。早寝、早起き、朝食を摂る。また、きちんとあいさつをすることや、ルールは必ず守ることも実践していただきたいことです。県では、こうした毎日の生活の中で子どもたちに取り組んでほしいことを「子どもの生活信条」として、そして、子どもたちの手本となるような大人の姿を「大人の生活心得」として取りまとめ、各家庭に配付しています。ぜひ、家庭での実践をお願いいたします。

こうした生活習慣を身につけたうえで、勉強が分かり、その楽しさを知り、そして、学校で勉強の仕方を教え、家庭での学習が習慣となれば、学力が身につくとともに、何事に対しても意欲的に取り組むことができるようになって考えています。

このように、教育においては家庭が重要な役割を果たしますが、その中でも子どもたちに安心感を与える親子関係がその核となります。それは問題行動などの早期対応、未然防止にもつながります。こうした親子関係を築くために、県では、子育てや親としての役割を互いに交流しながら学ぶ「親育ち」のためのプログラムを開発し、各学校・地域の様々な場面で活用していただいていますので、積極的なご参加をお願いいたします。

今回、本紙では、岡山県の教育を前進させるために、家庭で子どもと対話し取り組んでいただきたいことを特集で取り上げています。子どもたちが自信をもち、自立した人間へと成長できるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

「子どもの生活信条」「大人の生活心得」については、[おかやま 子ども 生活信条 検索](#)

## 特集 家庭で子どもとの対話を～岡山県の教育を前進させるために～ 育てよう!子どもたちの豊かな心

「こんなことがあったよ。」と、子どもが次のような体験を語ったら、家族でどのような話をされますか?

#### ある出来事

中学2年生のよしおさんは自転車通学をしています。通学路には、2台の自転車がギリギリすれ違えるかどうかという細い道がありました。ある朝、自転車で登校していたよしおさんは、その細い道の向こうから、通勤途中の男性が自転車で乗って来るのが見えました。よしおさんは先を急いでいましたが、男性に道を譲ろうと、道が細くなる手前で自転車を止め、待つことにしました。男性は、待っているよしおさんのそばを通り過ぎるとき、何も言わず、そのまま走り去りました。



#### 家庭で豊かな心をはぐくむには...

##### 【ポイント1】大人がモデルを示しましょう。

●「よいことはよい」  
この出来事の場合、まずは道を譲ることができた子どもの気持ち・行動をしっかりとほめたいものです。また、子どもは大人である保護者の価値判断を見て育ちます。大人がよい手本を示すことは何より大切です。

##### ●「悪いことは悪い」けれど...

この出来事では、子どもが男性の行動に不快感を持つことも考えられます。子どものそうした気持ちを受け止め、男性の立場ではどうすることがよいのかを話し合うことが大切です。

##### 【ポイント2】日々の会話を大切にしましょう。

子どもは、規範意識や思いやりの心が問われる場面に日々遭遇しています。子どもは家族と話し合う中で、自分の判断が正しいのかどうかを確認し、納得していきます。善悪の判断や礼儀、社会的なルール等について、共に考えていくことが大切です。

##### 【ポイント3】多くの経験から学ばせましょう。

子どもは、家庭の中だけでなく、様々な体験を通じて、豊かな人間性や社会性等をはぐくんでいきます。「かわいい子には旅をさせよ」です。地域の行事や自然体験、様々な人と触れ合う機会等を意識してつくってみてはどうでしょうか。

言葉のキャッチボールは、すなわち心のキャッチボールです。そして、言葉のキャッチボールは、まずは、あいさつから。家庭の中でも「あいさつをきちんと交わす」こと、できていますか? また、睡眠、食事等の生活習慣を整えることも、心の安定につながります。

#### あいさつ

#### 県内全域に運動を広げ、目指せ「あいさつ日本一」!

県教育委員会では、毎月10日を「県下一斉あいさつ運動の日」として、各学校を中心に朝の校門であいさつ運動を実施しています。今年度、「あいさつ日本一」を目指して、新たにのぼりを作成・配布し、各学校での取組の活性化を図っています。特色ある取組も募集し、ホームページで紹介しています。学校を起点としたあいさつ運動が、学校から地域へ、そして、県内全域へと広がっています。

元気のよいあいさつの声が響いています  
「津山市立西小学区子どもを見守る会」

おはよう。  
行ってらっしゃい!!



おはよう  
ございます

保護者の方、  
地域の方も、ぜひ、  
あいさつ運動に  
ご参加ください。

#### 早寝・早起き・朝ごはん

県教育委員会では  
「ばっちり!モグモグ」生活リズム  
向上キャンペーンを展開しています。  
(8面に関連記事)



岡山県「ばっちり!モグモグ」生活リズム向上  
マスコットキャラクター

